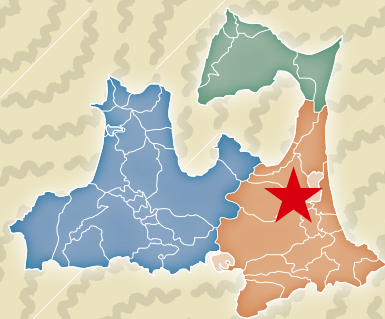


史跡 二ツ森貝塚 (七戸町)



縄文時代前期中頃から中期末にかけて栄えた、貝塚を伴う集落遺跡で、氷河期が終焉し、海水面の上昇により徐々に列島の内陸まで海水が押し寄せた縄文海進の時代、二ツ森貝塚の人々は台地であるこの地にムラを築きました。



史跡二ツ森貝塚航空写真(北西側から)

鹿角製櫛(県重宝)

鹿角に施された見事な装飾は、本県を中心に縄文時代前期から中期にかけて繁栄した円筒土器文化の装身具の中でも傑出したものであり、当時の人々の装飾観念、製作技術の高さを伺わせます。

鯨骨製青竜刀形骨器



鯨骨製青竜刀形骨器 外(県重宝4点)

写真上の鯨骨製青竜刀形骨器は形状により、内反りの同形石製品に類似し、中国の青竜刀に形が似ていることから、その名が付けられました。精神的遺物とされています。

骨角器

貝塚からはヤマトシジミ、ハマグリなどの貝類をはじめ、魚骨、鳥骨、獣骨のほか、骨角器なども出土しています。



東Ⅱ号貝塚

貝塚

二ツ森貝塚は、三内丸山遺跡とほぼ同時期に栄えた貝塚をとまなう拠点集落であり、貝塚では青森県最大、東北地方でも有数の規模です。



竪穴建物跡



幼犬の骨

貯蔵穴の底部より埋葬された状態で検出しました。縄文人とイヌの関係が密接であったことを示す貴重な資料です。



史跡公園

二ツ森貝塚は「史跡公園」として公開されています。



榎林式土器

南東北の土器の影響を受けた装飾表現豊かな土器で、縁に顔を表現したような装飾を持つものもあります。



DATA 基本情報

- 見学施設 二ツ森貝塚史跡公園
〒039-2751 七戸町字貝塚家ノ前43
- 休園 冬期間閉鎖(12月～3月)
- 見学料金 無料
- その他 七戸中央公民館2階ホールに、出土遺物の一部を常設展示しています。

詳しい情報はここから→

